

令和3年度事業報告及び公益目的支出計画実施状況について

(1) 令和3年度事業報告書

【 実施事業(公益事業) 】

本協会は、京都府知事の認可を受け、平成25年度以降、一般社団法人への移行法人として、公益目的支出計画に則り事業の執行と法人運営を行っておりますが、令和3年度末をもって9ヶ年度が終了いたしました。

令和3年度は、前年度と同様コロナ禍により市外におけるPR活動やイベント参加ができない状況でしたが、「舞鶴のさかな提供店制度」をベースとして、舞鶴市からの補助を受け、市外から舞鶴に来ていただくことを目的に、「まいづる冬グルメキャンペーン」を前年度からの繰越事業として6月まで実施したほか、12月から3月まで2回目のキャンペーンを舞鶴市や市内の水産関係団体、舞鶴観光協会、宿泊施設などと連携し、クーポン券発行による総額1億2,900万円の消費を喚起しました。

このほか、四季折々の「舞鶴のさかな」について、ホームページ等による情報発信や「プレゼントキャンペーン」などを実施し、本市における水産業の振興と観光客誘客の一翼を担いました。

その結果、公益目的支出計画の進捗は、9年経過後で、公益目的財産額1,083万円のうち84.6%を執行し、残額は167万円となり、当初計画より8.5ポイント上回る状況で推移しています。事業の概要は下記のとおりです。

〔 主な取り組み 〕

- プレミアムクーポン券の発行による「まいづる冬グルメキャンペーン」の実施。
令和2年度繰越分事業費2,848万円、令和3年度分事業費1億757万円。
- 「舞鶴のさかな提供店制度」の運営とプレゼントキャンペーンの実施
- 「舞鶴かに」、「京鯖」の試食会開催によるPRの実施
- 「舞鶴のさかな」ロゴマークと愛称「うおづるくん」を活用したPRの実施
- 「丹後とり貝」、「育成岩ガキ」、「ノドグロ」など報道機関へ取材機会の提供
- 「舞鶴のさかな」に関する報道機関への情報提供、ホームページやFacebookを使った情報の発信。
- 東京都内の一流レストランのシェフに対し、「舞鶴のさかな」をPRした「シェフマッチング」のフォローアップ事業を展開し、舞鶴市ふるさと納税返礼品「ふるさと美食体験」を創作するための食材(鮮魚)サンプルを提供した。
- 「舞鶴のさかな」を市外で食べられる・買える店舗「京都舞鶴のさかな食べ処・買い処」登録店制度を開始。

【 その他事業(収益事業) 】

舞鶴水産会館の運営を行い、適切な管理運営に努めました。
また、収益の一部は実施事業を実施するための財源として、実施事業会計へ繰り入れを行いました。

(2) 令和3年度事業報告附属明細書

I-1 実施事業会計(公益事業)

(1) 水産物の消費拡大と食育の推進に関する事業

「舞鶴のさかな」の消費拡大に資するため、PR活動を実施した。

【魚の街まいづるPR事業】

(事業費予算額) 1,928,000円

(事業費決算額) 1,733,126円

(1) 「舞鶴のさかな提供店」を活用したPR

(概要)

「舞鶴のさかな」を使用した料理や産品を積極的に提供する飲食店や小売店を「舞鶴のさかな提供店」に登録し、来客者の満足度と舞鶴の食のブランド力の向上を図り、併せて「魚の街まいづる」のイメージの定着を図ることを目的として、平成28年度に「舞鶴のさかな提供店」を創設した。6年目となる令和3年度は、登録店41店と一体となって各種PRキャンペーンを実施するとともに、登録各店のサービス向上に取り組んだ。

(内容)

① 「舞鶴のさかな提供店 宿泊&提供店利用券プレゼントキャンペーン」の実施

【市受託事業】 883,714円

・プレゼント内容

宿泊&提供店利用補助券1万円分【夏季】1名,同券3千円分【夏季】50名,【秋季】30名

・「舞鶴のさかな食べ処・買い処」マップ及び同ポスターの作成

【夏版】 マップ10,000部,ポスター150部

【秋冬版】 マップ25,000部,ポスター150部

・マップ有料配架…中国道 西宮名塩SA(下り), 舞鶴若狭道 西紀SA(下り)

・マップ無料配置…登録店40店,市内ホテル10軒,道の駅 舞鶴港とれとれセンター
京都縦貫道 由良川PA及び道の駅「京丹波 味夢の里」
京都総合観光案内所「京なび」(京都駅)等

・お客様が応募しやすい各店QRコード読取方式によるプレゼント応募システムを導入した結果、昨年度の2倍に当たる583件の応募があった。【夏季】217件,【秋季】366件

② 「舞鶴のさかな提供店」の登録認定

・令和4年度の登録店舗の募集を2月1日から開始し、登録認定委員会を3月17日に開催し、応募のあった47店(継続38店,新規9店)を提供店に認定した。

(2) ブランド水産物「丹後とり貝」・「育成岩がき」・「舞鶴かに」・「京鯖」等のPR

【一部市委託事業】 177,045円

(概要)

舞鶴市のブランド水産物「舞鶴かに」・「京鯖」・「丹後とり貝」・「育成岩がき」等のブランディングを推進するために、マスコミへの情報提供(取材)やマップ・ちらしの作成と配布を行い、PRを行った。

(内容)

- ・「丹後とり貝」、「育成岩がき」出荷前海上取材会開催(4月12日,舞鶴湾)
- ・「丹後とり貝」、「育成岩がき」試食取材会開催(4月15日,舞鶴港とれとれセンター)
- ・ちらし「丹後とり貝食べ処2021」発行(5,000部)
- ・「舞鶴のさかな食べ処・買い処マップ【秋冬版】」を作成(11,000部)及び「舞鶴かに」ポスター作成(150枚)作成
- ・「舞鶴かに」解禁日初セリ及び試食の取材会開催(11月6日,京都府漁業協同組合舞鶴市場及び舞鶴港とれとれセンター)
- ・「特選京鯖」販売開始後の試食取材会開催(11月24日,舞鶴港とれとれセンター)

(3) 魚食普及事業【市補助事業】 216,590円

(内容)

- ・「丹後とり貝」、「育成岩がき」試食取材会開催(4月15日,舞鶴港とれとれセンター)
- ・「舞鶴のさかな食べ処・買い処マップ(秋冬版)」の作成と高速道路SAへ有料配架
- ・「わお!ハイウェイマップ海の京都(中丹版)」に「舞鶴のさかな」を広告掲出・配架
- ・舞鶴市立中筋小学校へのシイラのレシピ考案・試食会(12月14日)

(4) 漁業・漁村広告宣伝事業(シェフマッチング・フォローアップ)【市補助事業】 106,528円

(内容)

「舞鶴のさかな」のブランディングを推進するために、舞鶴市が平成26年度から3年間実施した、食のブランド力向上事業のシェフマッチング(首都圏の情報発信力のある「食の匠(料理長やシェフ)」への訪問と食材の説明)に同行し、当該事業で繋がりができた店舗等へ、年間を通じて、四季折々の旬に応じた水産物のサンプルを提供し、その評価を求めるフォローアップを昨年度まで舞鶴水産流通協同組合が実施してきた。

本年度においては、この経験と実績を「舞鶴市ふるさと納税返礼品」の品目の一つとして「ふるなび」が企画した「ふるさと美食体験」という舞鶴の食材を用いた首都圏の飲食店のコース料理を堪能する返礼品を創作するためのサンプルを2店舗(①東京 飯田橋 神楽坂「ふしきの」(ミシュラン2021掲載店)、②東京 代々木上原「ル ボークープ」(ミシュラン2018掲載店)に発送した。

(5) 「京都舞鶴のさかな食べ処・買い処」登録店制度【自主事業】 150,498円

(内容)

「舞鶴のさかな」を全国の皆さんに味わっていただくとともに、「魚の街舞鶴」のイメージアップのため、市外で食べられる、または買うことができる店舗の登録制度を令和4年1月から開始し、10店舗が登録店となった。

【地産地消推進事業】

(事業費予算額) 16,000 円

(事業費決算額) 65,520 円

(概要)

市内外において、地産地消を推進し、併せて魚食の普及と「舞鶴のさかな」のPRを実施するために、「まいづるのお魚出前講座」を2回開催した。

また、本協会HPに、「地産地消のとりくみ」WEB サイトページを制作し、当該事業を広く紹介した。

(内容)

- ・舞鶴市 中筋小学校6年3組において実施(11月19日)
- ・舞鶴市 うみべのもり保育所において実施(12月2日)

【情報発信事業】

(事業費予算額) 67,000 円

(事業費決算額) 124,980 円

(概要)

本協会公式ホームページ(スマートフォン対応)において、コロナ禍による外食需要の低迷に対応し、お取り寄せ情報を掲載するとともに、本協会の公式FBに加えて、公式Instagramを開設し、「舞鶴の旬の特産さかな」や「舞鶴のさかな提供店」等に関するきめ細かい情報を発信した。

(内容)

- ① コロナ禍に対応し「丹後とり貝」「丹後の海育成岩がき」お取り寄せ情報発信(4~6月)
- ② 「舞鶴かに」に関する情報発信(11~3月)
- ③ 「舞鶴のさかな満喫クーポン」に関する情報発信(12~2月)
- ④ 「特選京鱈」に関する情報発信(12~3月)

(2) 水産流通加工業等の振興に関する調査及び研究事業**水産流通加工業等の振興に資するPRブランド戦略やPR戦略等に関する調査研究を実施。****【調査研究事業】**

(事業費予算額) 200,000 円

(事業費決算額) 15,840 円

(概要)

予定していたイベント時のアンケート調査は、コロナ禍のため中止となり、未実施となった。

(内容)

水産関係の業界紙を定期購読し、全国の事例を研究した。

(諸手続き)

① 舞鶴市水産業振興補助金関係

- ・ 交付申請：漁業・漁村広告宣伝事業(4月1日, 50,000円)
魚食普及事業(4月1日, 100,000円)
- ・ 交付決定：漁業・漁村広告宣伝事業(4月1日, 50,000円)
魚食普及事業(4月1日, 100,000円)
- ・ 実績報告：漁業・漁村広告宣伝事業(3月23日, 50,000円)
魚食普及事業(3月23日, 100,000円)
- ・ 額の確定：漁業・漁村広告宣伝事業(3月29日, 50,000円)
魚食普及事業(3月29日, 100,000円)

② 舞鶴市からの受託業務

(ア)舞鶴のさかな提供店キャンペーン業務

事業区分：事業1(夏キャンペーン)、事業2(秋冬キャンペーン)

実施期間：令和3年4月1日～令和4年3月31日

委託金額：883,714円

完了報告：事業1(2月21日、699,714円)、事業2(3月31日、184,000円)

(イ)舞鶴のさかなPR業務

事業内容：秋冬キャンペーン、舞鶴かにポスター・試食取材会、特選京鯖試食取材会

実施期間：令和3年7月5日～令和4年3月31日

委託金額：177,045円

完了報告：令和4年3月31日

③ 業務委託

(ア)舞鶴さかな提供店プレゼント応募システム変更業務(春夏分)

事業内容：スマートフォンで各提供店のQRコードを読み込むことにより、プレゼントキャンペーンに応募できるシステムを構築

委託先：(株)アイデンティティブランディング

実施期間：令和3年4月9日～令和3年4月30日

委託金額：187,000円

完了報告：令和3年5月7日

(イ)舞鶴さかな提供店プレゼント応募システム変更業務(秋冬分)

事業内容：スマートフォンで各提供店のQRコードを読み込むことにより、プレゼントキャンペーンに応募できるシステムを構築

委託先：(株)アイデンティティブランディング

実施期間：令和3年8月20日～令和3年8月31日

委託金額：55,000円

完了報告：令和3年9月30日

(ウ)「京都舞鶴のさかな食べ処・買い処」WEBサイトページ制作他業務

事業内容：「京都舞鶴のさかな食べ処・買い処」制度の開始に合わせて、本協会HPに、WEBサイトの固定ページを制作し、更に「お問い合わせフォーム」を新規に作成し、サービスの向上を図った。

委託先：(株)アイデンティティブランディング

実施期間：令和4年1月12日～令和4年1月24日

委託金額：96,800円

完了報告：令和4年1月24日

(エ)「地産地消のとりくみ」WEBサイトページ制作業務

事業内容：舞鶴市内外の幼稚園等や学校等で行う地産地消の取り組みを紹介するため、本協会HPに、「地産地消のとりくみ」WEBサイトを制作した。

委託先：(株)アイデンティティブランディング

実施期間：令和4年2月28日～令和4年3月16日

委託金額：58,300円

完了報告：令和4年3月16日

I-2 実施事業会計(令和2年度繰越分：特別会計)

(1)水産物の消費拡大と食育の推進に関する事業

「舞鶴のさかな」の消費拡大と地域経済の活性化に資するため、キャンペーンを実施した。

(事業費予算額) 33,848,000円

(事業費決算額) 28,476,617円

令和2年度繰越「まいづる冬グルメキャンペーン事業」の実施【市補助事業】

(概要)

当初、令和2年度事業として「舞鶴のさかな提供店」や観光協会と連携し、舞鶴市の支援を受けながら、舞鶴の冬場の代表的な水産物であり、観光資源でもある「舞鶴かに」及び「京鰯」を活用したクーポン事業を実施した。

期間中に緊急事態宣言等が発出されたことから、令和3年度まで事業を継続し、水産物全般をクーポンの対象とした。この事業により、コロナ禍で低迷する舞鶴市の水産物の消費拡大と地域経済の活性化に寄与することができた。

(内容)

①まいづる冬グルメ満喫クーポンの利用

クーポンの販売は令和2年度で終了しており、令和3年度は使用期間を6月30日までとした。利用店舗は新たに5店舗が加わり、44店舗で利用可能となった。

「舞鶴のさかな提供店」から持ち込まれたクーポン券は、2,517枚であり、支払額は2,517万円となり、令和2年度と合わせた換金率は99.18%となった。

②クーポンコードの利用

特設サイト「北近畿逸品百貨店」で令和3年度に使用されたクーポンコードは1,234コードで金額にして2,449,737円であった。令和2年度と併せた最終の利用額は5,254,511円で、使用率は52.84%となった。これをきっかけに通販事業に参加する事業者が増え、舞鶴市のふるさと納税返礼品の充実にもつながった。

(諸手続き)

①舞鶴市水産業振興補助金関係

- ・実施計画書提出：4月1日
- ・請求書提出：5月6日、3年度請求額20,853,000円
- ・変更交付申請：6月4日、期間変更(7月30日→9月30日) ⇒6月7日交付決定
- ・変更交付申請：8月24日、事業費及び補助金額の変更 ⇒9月9日交付決定
事業費 116,000,000円→110,628,693円、うち3年度分28,476,617円
補助金額 66,000,000円→60,628,496円、うち3年度分15,481,517円
- ・実績報告：9月10日、3年度補助金額15,481,517円
補助金返還額5,371,483円 ⇒9月30日額の確定

②業務委託関係等

- ・まいづる冬グルメキャンペーン運營業務委託7月21日付け変更契約
(合同会社HOUKO、履行期限変更7月26日→8月31日、金額変更11,408,000円→6,894,171円)

I-3 実施事業会計(令和3年度事業分：特別会計)

(1)水産物の消費拡大と食育の推進に関する事業

「舞鶴のさかな」の消費拡大と地域経済の活性化に資するため、キャンペーンを実施した。

(事業費予算額) 108,000,100円

(事業費決算額) 107,568,817円

「まいづる冬グルメキャンペーン事業※第二弾」の実施【市補助事業】

(概要)

昨年度大好評であった冬グルメキャンペーン第二弾を「舞鶴のさかな提供店」や観光協会と連携し、舞鶴市の支援を受けながら、実施した。今回は宿泊施設でもクーポンの一部を使えるようにし、また京阪神地区で先行販売を行い、水産物の消費拡大と併せて観光需要の喚起を狙った事業とした。この事業により、コロナ禍で低迷する舞鶴市の水産物の消費拡大と地域経済の活性化に寄与することができた。

(内容)

まいづる冬グルメ満喫クーポンの販売及び利用

「舞鶴のさかな満喫クーポン」と題し、5,000円券4枚合計2万円分を1セットとしたクーポンを1万円で販売することとした。販売場所はローソン及びミニストップの店頭端末

Loppi として。12月12日に京阪神地区で3,000セットを先行販売した結果30分で完売、12月19日には1,000セットを全国販売し、3分で完売する人気クーポンとなった。

1月からは登録宿泊施設においても5,000円券1枚単位で販売し、宿泊需要を喚起した併せて、観光需要喚起のため、旅行会社とツアー造成を行ったものの、1月27日から京都府全域にまん延防止等重点措置が適用されたため、ツアーの実施は見送られた。

同措置により、宿泊施設での販売が伸び悩んだことから、本事業の効果を最大限発揮するため、宿泊施設やバスツアーで販売する予定であったクーポンをローソンチケットにより追加販売し、利用拡大に努めた。こちらも利用期間が1か月と短かったものの、即日完売した。同時に宿泊施設においても販売も継続したことから、最終的に発行枚数は20,396枚(101,980,000円相当)となった。

「舞鶴のさかな提供店」や宿泊施設等から換金請求があったクーポン券は、20,308枚であり、支払額は101,540,000円となり、換金率は99.57%となった。

(諸手続き)

①舞鶴市水産業振興補助金関係

- ・ 交 付 申 請 : 11月26日 (事業費108,000,100円 補助金額58,000,000円)
⇒11月26日交付決定
- ・ 請 求 書 提 出 : ①12月10日 30,000,000円 ②1月13日 28,000,000円
- ・ 変 更 交 付 申 請 : 3月17日 事業費及び補助金額の変更 ⇒3月25日交付決定
事 業 費 108,000,100円 → 107,568,817円
補 助 金 額 58,000,000円 → 56,578,747円
- ・ 実 績 報 告 : 3月29日 補 助 金 額 56,578,747円
補 助 金 返 還 額 1,421,253円 ⇒3月31日額の確定

②主な業務委託関係

- ・ チケット販売に係る個別契約締結(㈱ローソンエンタテインメント、対価:販売金額の5%
11月26日)
- ・ 案内業務に係る委託契約((一社)京都府北部地域連携都市圏振興社、330,000円)

II その他事業(収益事業)会計

舞鶴水産会館の運営に関する事業

舞鶴水産会館の適正な管理・運営を行い、得られた収益を実施事業会計へ繰り入れ、実施事業会計の財源とした。

【水産会館賃貸事業】

(事業費予算額) 862,300円

(事業費決算額) 726,475円

(主な内容)

- ①法人税等確定申告及び納税(5月31日、舞鶴税務署等、令和2年度分239,600円)
- ②火災保険継続加入(9月3日、京都府漁協、100,000円)
- ③漁港施設の使用等の期間更新許可申請書提出(2月8日、京都府水産事務所、令和4年4月1日～令和5年3月31日、使用料100,200円、3月31日許可)
- ④水産会館修繕工事(6月電気引込盤扉修繕工事9,350円、8月漏水調査4,950円、漏水修繕工事182,600円)
- ⑤賃貸料収入1,320,000円のうち、実施事業会計へ458,000円繰入(7月2日339,618円、3月2日118,382円、予算額458,000円)
- ⑥会館修繕等預金として利息176円を繰入(3月15日、定期預金残高5,312,596円)

Ⅲ 法人会計

法人運営管理

一般法人法、定款及び公益法人会計基準に則り、法人の運営・管理を行った。また、実施事業会計への繰り入れを行い、実施事業会計の財源とした。

(管理費予算額) 207,000円

(管理費決算額) 123,856円

(会議関係)

- ①監査会(4月30日)
令和2年度監査
- ②第1回理事会(4月30日)
令和2年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び公益目的支出計画実施報告書の承認 役員改選 第9回定時総会 について
- ③役員候補者推薦委員会(5月7日)
役員候補者の選定
- ④第9回定時総会(5月28日)
令和2年度貸借対照表及び正味財産増減計算書承認の件
令和2年度事業報告、役員改選
- ⑤第2回理事会(5月28日)
正副会長選任
- ⑥第3回理事会(10月22日)
令和3年度事業執行状況について
令和3年度 今後の事業予定について

⑦第4回理事会（2月18日）

令和3年度 事業執行状況について
令和4年度 事業計画（案）について
理事会及び通常総会の運営について

⑧第5回理事会（3月10日理事会への提案書・3月31日決議の省略）

令和4年度事業計画(案)及び収支予算(案)の承認について

（諸手続き）

- ①役員改選に伴い変更登記(5月31日、京都地方法務局)
- ②令和3年度会費請求(6月7日、28会員宛、456千円全て納入)
- ③公益目的支出計画実施報告書提出（6月10日、京都府総務調整課）
- ④貸借対照表等公告(6月14日、ホームページ掲載)
- ⑤実施事業会計へ249,000円を繰入(2月8日、予算額249,000円)